

資料編

1 中間評価一覧表

茨木市水道事業ビジョン（2018年度（平成30年度）策定）及び茨木市水道事業経営戦略（2019年度（平成31年度）策定）で定めた施策に対し、毎年度、実績値をホームページで公開しています。

2018年度（平成30年）から2021年度（令和3年度）までの中間評価を以下に示します。

【評価凡例】

- ：当該年度(2021年度)において計画期間内(2018年度～2021年度)の目標を達成
- △：当該年度(2021年度)において計画期間内(2018年度～2021年度)の目標は未達成であるが、目標年度(2027年度)において達成できる見込み
- ：継続実施
- ：主に外的要因による影響を受けたもの

■資料 1-1 「茨木市水道事業ビジョン」における事後評価【持続】

施策	項目	目標	計画策定時	実績	中間評価	
			2015年度	2021年度		
持続	1. お客さまサービスの向上					
	1 より一層のお客さまの利便性や料金負担の公平性の向上	①クレジットカード払い等料金収納方法について検討	新規事業	実施済	○	目標達成により、施策終了。(2020年度キャッシュレス決済(LINE Pay、PayB、PayPay、楽天銀行)を導入した。) 今後は、新たなサービスの導入に向けた取組を進めていく。
		②窓口などのサービスに関する満足度(アンケート) ■目標 2022年度：50% 2027年度：80%	28.4%	70.9%	△	お客様窓口業務の全部委託に向けて、開閉栓等受付業務の委託契約を締結した。今後は、新たなサービスの導入に向けた取組を進めていく。
		③料金体系のあり方の検討や未収金対策の強化	継続実施	継続実施	→	随時停水執行を行ったほか、悪質滞納者には支払督促、差押えを行った。引き続き、未収金対策を行っていく。
	2 効果的かつ積極的な広報・広聴活動	①水道事業の広報などPRに関する満足度(アンケート) ■目標 2022年度：50% 2027年度：80%	21.2%	65.9%	△	「茨木市の水道」PR動画の作成をはじめ、イベントの参画による情報提供を行った。今後も積極的な情報発信に努める。
		②水道事業のPR イベントの内容の見直し 新たなイベントの開催	継続実施	継続実施	→	立命館DAYや環境フェアなどのイベントに参画し、水道事業のPRを行った。引き続き、取り組んでいく。
	3 お客さまニーズに応じた取り組みの推進	①お客さまへの水道事業に関するアンケート調査の実施	継続実施	継続実施	→	イベントに参画した際にアンケート調査を実施した。今後も定期的なニーズの把握に取り組んでいく。

■資料 1-2 「茨木市水道事業ビジョン」における事後評価【持続】

項目	目標	計画 策定時	実績	中間評価
		2015年度	2021年度	
2. 経営基盤の強化				
1 更新需要の増加に対する財源の確保	①給水収益に対する企業債残高の割合 ■目標 140%以下	141.4%	83.1%	○ 企業債の新規借入額が償還額を下回っているため、企業債残高対給水収益比率は減少している。今後も、将来世代との負担の公平性を考慮した企業債の借入を行い、財源の確保に努める。
	②料金回収率 ■目標 100%以上を維持	107.7%	105.4%	○ 給水収益が給水に係る費用を上回っており、適切な料金水準が確保できている。今後も投資・財政計画に基づいた経営を行い、適正な料金水準の確保に努める。
	③廃止した水道施設用地の活用方法の検討 広告収入の検討	新規	継続実施	→ 旧山手台送水ポンプ場の跡地を売却した。水道施設が市街化調整区域に多くあるため利活用が困難であるが、引き続き売却や利活用に向けて検討する必要がある。
2 より一層の経営の効率化	①給水原価 ■目標 137円以下	136.42円	140.80円	— 大阪北部地震の影響による漏水修繕の増加などから、経常費用が増加している状況にある。新型コロナウイルス等による物価高騰の影響は未定であるが、今後とも効率的な事業経営に取り組む必要がある。
	②PFIの活用、運転管理業務や窓口業務の包括委託等の研究・検討	新規	一部実施	→ 営業課窓口業務の一部を委託し、また中央運転監視業務委託の委託範囲を拡大した。今後も効率的な事業運営のために業務委託を検討していく。
3. 組織体制の強化				
1 計画的な人材育成による技術力の継承・向上	①水道事業にかかる研修時間 ■目標 2022年度：20時間/人 2027年度：25時間/人	15.5時間	13.6時間	— 新型コロナウイルスの影響により、研修が中止になったため、研修時間が減少した。今後はオンライン研修を活用することにより、研修時間を確保していく。
	②偏った年齢構成となっている業務における人員配置の見直し	継続実施	継続実施	→ 定年退職者の補充に新規採用職員を充て、年齢構成の平準化に努めたが、未だ50歳以上が多くを占めているため、今後とも年齢構成の平準化に努める必要がある。
2 他事業体等との連携の継続的な検討	①他事業体と共同で行う勉強会、研究会の参加件数 ■目標 2022年度：40回/年 2027年度：50回/年	33回	-	— 新型コロナウイルスの影響により、研修等が中止になったため目標値を下回った。引き続き、他団体と連携した取組について検討していく必要がある。
4. 環境への配慮				
1 より一層の最適な水運用の検討	①配水量1㎡当たり電力消費量 ■目標 現状維持	0.25kwh/㎡	0.244kwh/㎡	○ 施設の老朽度を勘案し可能な施設は統廃合等により廃止した。今後とも効率的な水運用の検討を行う必要がある。
	②省エネルギー（低公害）車の導入について検討	新規	1台	○ 更新時期を迎えた車両を低燃費車両や低排出ガス認定車に更新した。
2 再生可能エネルギーの導入促進	①土地貸しによる太陽光発電における再生可能エネルギー発電量（公称最大出力） ■目標 現状以上	17.1万kwh	19.4万kwh	○ 水道施設の土地貸しによる太陽光発電の発電量は公称最大出力を上回る実績であった。引き続き、取り組んでいく。
3 水道施設整備工事で生じる建設廃棄物のリサイクルの継続と廃棄物の排出抑制	②建設廃棄物リサイクル率 ■目標 100%を維持	100%	100%	○ 建設廃棄物のリサイクルの促進を継続して行った結果、リサイクル率100%を維持した。今後においても、引き続き環境負荷の低減を維持する。

■資料 1-3 「茨木市水道事業ビジョン」における事後評価【強靱】

施策	項目	目標	計画策定時	実績	中間評価	
			2015年度	2021年度		
5. 水道施設の適切な維持及び更新						
強靱	1	自己水源の安定的な水量の確保	①十日市浄水場（深井戸）の取水量 ■目標 12,000m ³ /日（施設能力の上限）	9,855 m ³ /日	10,219 m ³ /日	△ 老朽化による揚砂量の増加で取水制限していた深井戸1号井の掘替工事を2020年度に実施した。今後も計画的に深井戸の更新を実施していく。
	2	水需要の動向を注視しつつ重要度に応じた水道施設の計画的な更新	①水道施設数 ■目標 39か所	45か所	43か所	— 市内配水区域の最適化に向けた区域変更及び施設の統廃合（野々宮配水場及び花園配水場配水ポンプの廃止）などを実施した。清阪浄水場及び清阪配水池については、施設の老朽化が進行していないため、今後は老朽化状況に応じて統合を実施していく。また、馬場中継ポンプ場及び梅原加圧ポンプ室については、彩都東部地区の開発に合わせて、廃止を実施していく。
			②浄水池や配水池等の日常的・定期的な点検、防水補修等による長寿命化対策の実施 水道施設のポンプ設備や受配電設備、電気計装設備等の定期保守点検や分解補修等の実施	継続実施	継続実施	→ 水道施設のポンプ設備や受配電設備、電気計装設備等の定期保守点検や分解補修等を実施した。今後も、計画的に長寿命化を図っていく。
			③重要度の高い水道施設の更新状況などの積極的な情報提供	継続実施	継続実施	→ オンラインイベントといった新しい形でのPRを実施することができた。引き続き、積極的に取り組んでいく。
	3	管路更新など継続的な老朽化対策の推進	有収率 ■目標 95%以上を維持	95.2%	95.3%	○ 老朽管の計画的な更新や漏水調査により、目標を達成した。今後も管路の適正な維持に努めていく。
管路の更新率 ■目標 年間1.0%以上			0.75%	0.65%	△ 多大な更新費用を要する口径の大きい基幹管路の更新を優先して行ったため、更新率は1.0%を下回った。しかし、今後は小口径が主となるため、更新率が上昇し、計画期間内には目標を達成する見込みである。引き続き、管路の更新に取り組んでいく。	
6. 水道施設の耐震化の推進						
強靱	1	継続的な施設の耐震化対策の推進	配水池の耐震化率 ■目標 100%	91.4%	100.0%	○ 目標達成により施策終了。（2020年度に野々宮配水場（1号配水池）を廃止したことにより、配水池の耐震化率は100%を達成）
	2	計画的な耐震管の整備	管路の耐震化済み重要給水施設数 ■目標 2022年度：15か所 2027年度：24か所 基幹管路の耐震管率 ■目標 2022年度：44% 2027年度：45%	0か所	13か所	△ 13か所の重要給水施設への管路の耐震化が完了した。今後は、重要給水施設数の増加に伴い、計画の見直しを行い、引き続き取り組んでいく。 ○ 基幹管路の更新にあわせて、耐震化を実施し、目標は達成した。今後は目標値の設定について見直しを行い、引き続き、管路の耐震化に取り組んでいく。

■資料 1-4 「茨木市水道事業ビジョン」における事後評価【強靱】

施策	項目	目標	計画策定時	実績	中間評価	
			2015年度	2021年度		
7. 危機管理体制の強化						
強靱	1	応急給水体制の拡充と応急給水拠点の認知度向上	①応急給水拠点の認知度（アンケート） ■目標年度までに100%達成	12.1%	12.0%	→ ホームページや「いばなびマップ」などに掲載したほか、水道イベントで応急給水拠点や給水方法についてPRを行ったが、2021年度のアンケート調査（12.0%）では認知度は前回と変わらなかった。今後とも認知度向上に向けて、積極的に取り組んでいく。
	2	危機管理に対する取り組みの周知と継続的な訓練の実施	①危機管理マニュアルの充実 災害時の復旧活動に必要となる資機材や浄水場で使用する薬品の安定した調達確保 委託業者等との災害時協力体制の拡充 危機管理時の基本となる初期対応体制の構築	継続実施	継続実施	→ 一部の委託業者等と災害時における水道の応急活動の応援に関する協定の締結したほか、地域防災計画の修正に合わせた危機管理マニュアルの見直しを行った。引き続き、取り組んでいく。
	②危機管理に対する取り組みについて、ホームページでの応急給水訓練の動画配信など、効果的な方法による情報提供の実施		新規	継続実施	→ 災害対応訓練の記事をホームページに掲載したほか、イベントでは、応急給水拠点など災害時に役立つ情報の提供を行った。引き続き、危機管理に対する取り組みについて、積極的に周知を行う。	
	③隣接都市や自衛隊等の関係機関と連携した訓練 ■目標年度定期的な実施		新規	継続実施	→ 新型コロナウイルスにより合同訓練が中止になったこともあったが、水道部独自訓練や実際に他市での応急給水活動を実施したため、災害時の対応能力は向上した。今後も定期的に実施していく。	
	3	災害時におけるお客さまとの共助関係の構築	①お客さまとの共同訓練の実施 年1回以上実施	新規	実施中	→ 予定していた説明会が新型コロナウイルスの感染拡大などにより、中止となった。今後は、重要給水施設との共同訓練の実施も検討していく。
4	想定外を考慮した危機管理に対する新たな取り組みの推進	①バックアップ率 ■目標 60%	21%	71%	○ 2019年度に花園配水区域の複数水源化を完了した。これにより花園配水区域は、3つの水源（十日市浄水場自己水及び企業団村野浄水場・三島浄水場）からの配水が可能になるとともに、停電時の断水が懸念される野々宮配水場を廃止することにより、給水の安定性が大幅に改善された。今後も継続して、バックアップ体制の強化に取り組んでいく。	
		②浄水場などへの侵入防止対策や水質監視対策を実施警察をはじめ関係機関と連携した強化方法の検討	継続実施	継続実施	○ 外部からの異物投入等を防御するために、十日市浄水場内の開口池（着水井、ろ過池、配水排泥池等）の上部に覆蓋設置工事を実施した。今後も、覆蓋設置工事を進めていく。	

■資料 1-5 「茨木市水道事業ビジョン」における事後評価【安全】

施策	項目	目標	計画策定時	実績	中間評価	
			2015年度	2021年度		
8. 水質管理の充実と強化						
安全	1 水質管理の強化	①水質基準不適合率 ■目標 0%を維持	0	0	○	厚生労働省や大阪府、大阪広域水道企業団が実施する外部精度管理へ積極的に参加した。また、内部精度管理を実施し、必要に応じて改善措置を実施した。引き続き、取り組んでいく。
		②『茨木市水安全計画』における管理対応措置の内容及び対応方法の運用状況に基づく見直し	運用中	運用中	○	水安全計画について、毎年レビューを行い、管理対応措置の内容及び対応方法の運用状況に基づく見直し等を行った。今後も、適宜見直しを行っていく。
	2 給水栓における水質保持	①鉛製給水管率 ■目標年度までに解消	2.5%	1.6%	○	老朽管更新整備に合わせ、面的に解消を図るほか、所有者に対する指導に努めている。引き続き、解消に取り組んでいく。
		②5年間ににおける小規模貯水槽水道指導率 ■目標 100%を維持	100%	100%	○	毎年度、計画的に点検検査を実施し、必要に応じて改善指導を行っている。引き続き、取り組んでいく。
9. 水道水の信頼性強化						
1	水質検査結果のよりわかりやすい情報提供	①安全な水の供給に関する満足度（アンケート） ■目標 2022年度：80% 2027年度：90%	64.7%	84.3%	→	水質検査結果に関するホームページについて、水質基準項目の説明や健康への影響などを表記し、採水地点を地図上に示すなど、リニューアルを行った。今後も継続して、分かりやすく情報提供を行っていく。
	2 より一層の安全でおいしい水の提供	①おいしい水の供給に関する満足度（アンケート） ■目標 2022年度：70% 2027年度：80%	59.1%	73.3%	—	末端給水栓の残留塩素濃度を定期的に測定し、適正な管理を行った。
②イベント参加者数（浄水場施設見学、利き水会など） ■目標 2022年度：2,000人 2027年度：2,500人		1,743人	0人	—	新型コロナウイルスの感染拡大までは目標を達成した。今後は、開催手法等を検討しつつ、積極的に情報提供を行っていく。	

■資料 1-6 「茨木市水道事業経営戦略」における事後評価※

施策	項目	目標	計画策定時	実績	中間評価	
			2016年度	2021年度		
財政	1 資金残高	事業を継続するために最低限必要な資金の確保 ■目標 25億円以上	38.7億円	33.0億円	○	資金残高は目標値以上となった。引き続き、資金の確保に努めていく。
	2 経常収支比率	経営の健全性が確保できるよう経営基盤の強化を図る ■目標 100%以上	114.1%	113.8%	○	目標値以上となり、健全な経営を維持できている。今後も、投資・財政計画に基づいた経営を行っていく。

※「茨木市水道事業経営戦略」の事後評価において、「茨木市水道事業ビジョン」の事後評価と重複する項目については、記載を省略しています。

2 経営における現状分析

(1) 経営比較分析表

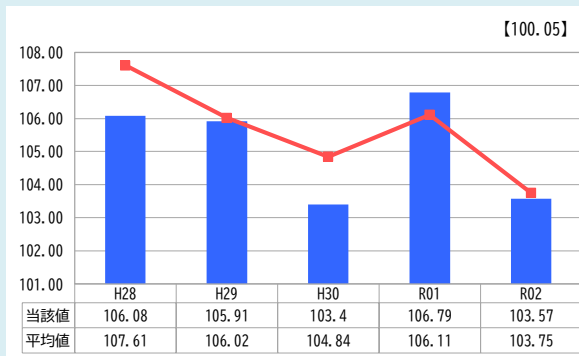
経営比較分析表では、経営及び施設の状況を表す経営指標を活用し、経年比較や他公営企業との比較、複数の指標を組み合わせた分析を行います。これにより、経営の現状及び課題を的確かつ簡明に把握することが可能となります。

グラフ凡例

- 茨木市 — 類似団体平均値 【 】 令和2年度全国平均値
 類似団体比較：業務指標（PI）をホームページ等で公表している「現在給水人口15万人以上30万人未満」の団体の平均値

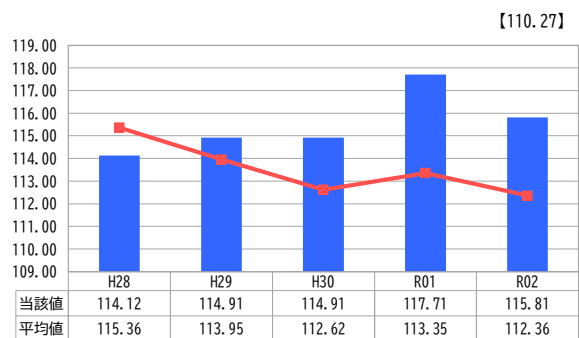
1. 経営の健全性・効率性

【料金回収率（%）】



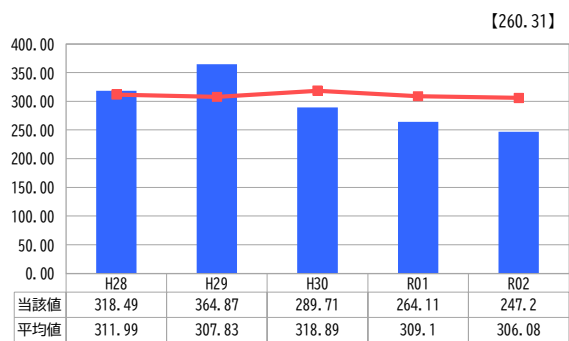
料金回収率は、給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標です。2020年度（令和2年度）の本市は、料金回収率も100%を上回っていますが、類似団体平均値を下回る傾向となっています。これは2010年度（平成22年度）に料金改定を行ったことにより、水道料金を継続して比較的安く抑えている影響と考えられます。

【経常収支比率（%）】



経常収支比率は、給水収益等で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。2020年度（令和2年度）の本市は、100%を超えており、経営の健全性が保たれている状況といえます。

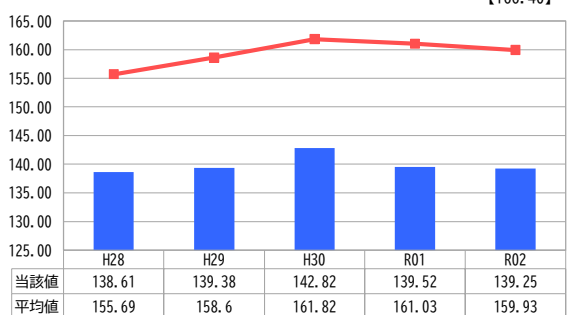
【流動比率 (%)】



流動比率は、短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。

2020年度（令和2年度）の本市は、100%を超えており、問題はない状況といえます。なお、2018年度（平成30年度）以降において比率が減少している要因は、送水ポンプ場築造工事や浄水場の中央監視設備改修、大規模水道管布設工事等を実施し例年より現金支出が増加していたためであり、当該事業は2020年度（令和2年度）までに完了しています。

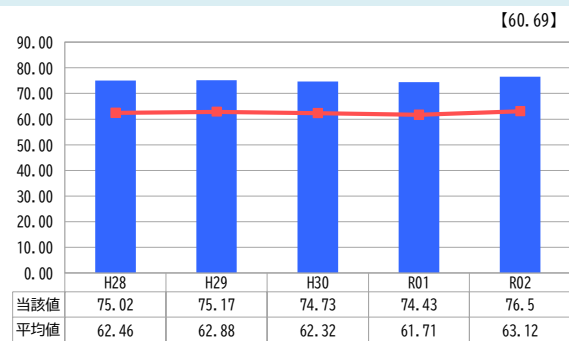
【給水原価 (円)】



給水原価は、有収水量1m³あたりについて、どれだけのコストがかかっているかを表す指標です。

2020年度（令和2年度）の本市は、類似団体平均値を下回る数値となっており、効率的な運営が行われているといえます。

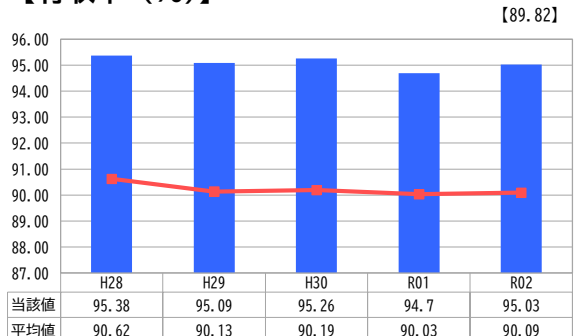
【施設利用率 (%)】



施設利用率は、施設の利用状況や適正規模を表す指標です。

2020年度（令和2年度）の本市は、類似団体平均値を上回る数値となっており、施設を効率的に利用できているといえます。

【有収率 (%)】

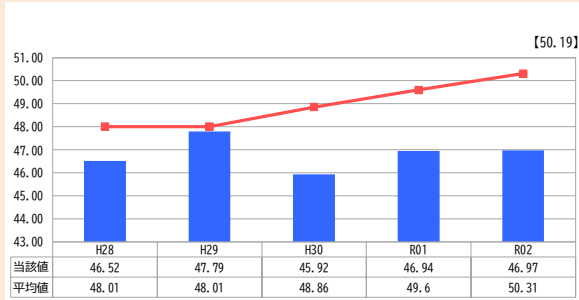


有収率は、水道施設を通して供給される水量がどの程度収益に繋がっているかを表す指標です。

2020年度（令和2年度）の本市は、類似団体平均値を大幅に上回る数値となっているため、今後も高水準を維持できるよう施設管理を行います。

2. 老朽化の状況

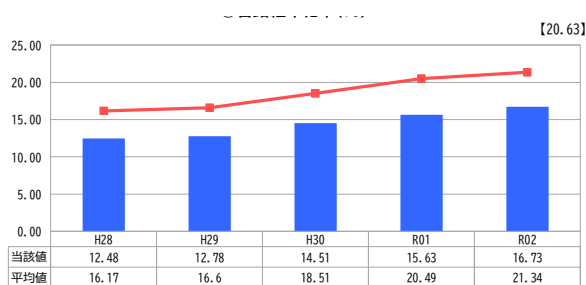
【有形固定資産減価償却率（％）】



有形固定資産減価償却率は、施設全体の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標です。

2018年度（平成30年度）を除き、類似団体平均値の推移と同様に微増の傾向ですが、類似団体平均値より低水準で推移しており、計画的に施設更新を行っている結果、類似団体より老朽化は進んでいないといえます。

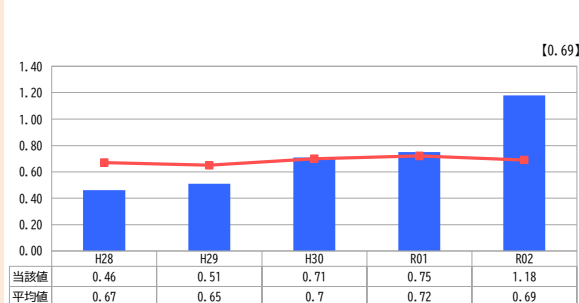
【管路経年化率（％）】



管路経年化率は、法定耐用年数を越えた管路延長の割合を表す指標です。

2020年度（令和2年度）の本市は、類似団体平均値より低水準であり、そのため、老朽化は進んでいないといえます。

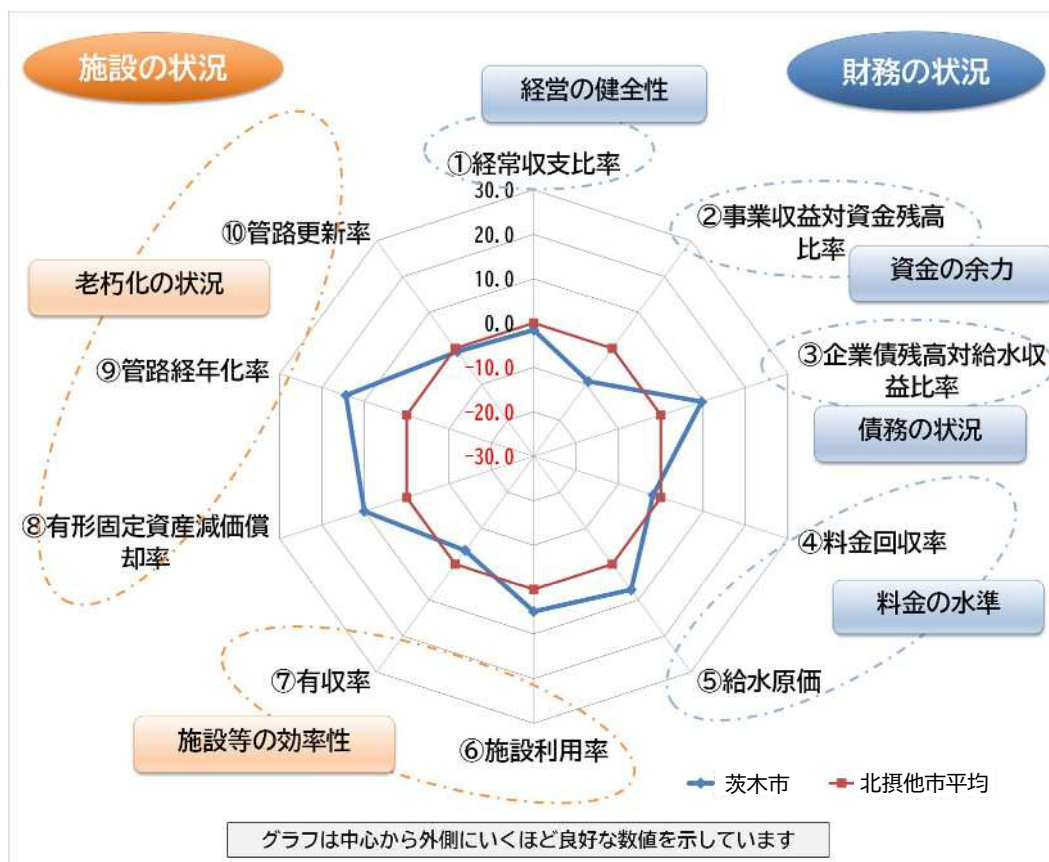
【管路更新率（％）】



管路更新率は、管路の更新ペースや状況を把握できる指標です。

2020年度（令和2年度）の本市は、類似団体平均値と同程度に推移しています。老朽管の更新については、水道施設更新計画に基づいて進めています。なお、2020年度（令和2年度）は多額の更新工事を行った結果、1%を超える結果となり、類似団体平均値を上回りました。

(2) 北摂他市と比較した経営状況



経営指標 (2020 年度)		茨木市	北摂他市 平均	数値の見方 ※
① 経常収支比率	経営の健全性	115.8%	117.4%	▲
② 事業収益対資金残高比率	資金の余力	86.0%	133.4%	▲
③ 企業債残高対給水収益比率	債務の状況	87.7%	242.0%	▼
④ 料金回収率	料金の水準	103.6%	105.3%	▲
⑤ 給水原価	料金の水準	139.3 円/m ³	153.3 円/m ³	▼
⑥ 施設利用率	施設等の効率性	76.5%	67.6%	▲
⑦ 有収率	施設等の効率性	95.0%	95.9%	▲
⑧ 有形固定資産減価償却率	老朽化の状況	47.0%	50.4%	▼
⑨ 管路経年化率	老朽化の状況	16.7%	35.8%	▼
⑩ 管路更新率	老朽化の状況	1.2%	1.2%	▲

※ ▲：数値が高い方が望ましい、▼：数値が低い方が望ましい

■資料 2-1 経営比較分析表 (北摂他市との比較)

北摂他市の比較：豊中市、箕面市、吹田市、高槻市、摂津市、池田市の平均値

◆チャート上の差異は、偏差値の差異であり、絶対値ではない。

◆偏差値は、類似団体の平均を基準としておりグラフは中心から外側に行くほど良好な状態を示す。

経営指標の比較の結果、『財務の状況』を示す指標では、「経常収支比率」、「料金回収率」は、北摂他市の平均より若干低いものの、100%以上を示しており良好な数値となっています。また、「企業債残高給水収益比率」、「給水原価」は、北摂他市の平均と比較して良好な数値となっています。

一方で、「事業収益対資金残高比率」は、北摂他市の平均を下回っており、かつ100%を下回っていますが、これは施設整備に伴い資金残高が減少しているためです。以上のことから、経営の健全性は概ね良好であるといえます。

『施設の状況』を示す指標では、「施設利用率」、「有形固定資産減価償却率」、「管路経年化率」、「管路更新率」は北摂他市の平均と比較して良好な数値となっています。なお、「有形固定資産減価償却率」、「管路経年化率」からわかるように北摂他市よりも施設や管路の老朽化は進んでいない状況にあります。ただし、将来において、耐用年数を超える管路が年々増加する状況にあるため、今後も管路や施設の更新を継続的に進める必要があります。また、「有収率」は北摂他市の平均より若干低いものの、95%と高い水準となっています。

今後、施設及び管路の適切な更新を行っていくためには、財源確保や財源構成の検討を進めていく必要があります。また、現時点において「経常収支比率」は良好な数値（100%以上）を示していますが、適切な更新を行った上でもなお経営の健全性が確保できるよう、経営基盤の強化を図っていく必要があります。

3 投資・財政計画を踏まえた原価計算表

原価計算表とは、投資・財政計画における2023年度（令和5年度）～2032年度（令和14年度）の収支から算出した結果を示したものであり、その結果を下記に示します。

■資料 3-1 原価計算表（2023年度～2032年度（令和5年度～令和14年度））

原価計算表

布設年月日 昭和2年12月12日
給水人口 283,285人
計算期間 自 2023年4月 至 2032年3月
(10年間)

項 目	収 入 の 部			
	最近1箇年間の実績	投資・財政計画計上額 (A)	公費負担分 (B)	料金対象収支 (A) - (B)
料 金 (X)	千円 4,335,137	千円 4,542,618	千円	千円 4,542,618
受 託 工 事 収 益	1,670	3,581		3,581
そ の 他	434,780	376,995		376,995
合 計	4,771,587	4,923,194	0	4,923,194

項 目	支 出 の 部			
	最近1箇年間の実績	投資・財政計画計上額 (A)	公費負担分 (B)	料金対象収支 (A) - (B)
維持管理費	人 件 費 ※1	千円 350,543	千円 365,962	千円 365,962
	修 繕 費	193,530	183,317	183,317
	動 力 費	134,451	155,650	155,650
	受 水 費	1,923,204	1,959,113	1,959,113
	材 料 費	10,985	13,141	13,141
	そ の 他	470,562	670,738	11,630
小 計	3,083,275	3,347,922	11,630	3,336,291
資本費	支 払 利 息	81,521	62,213	62,213
	減 価 償 却 費 ※2	950,922	1,063,348	1,063,348
小 計	1,032,443	1,125,562	0	1,125,562
合 計 (Y)	4,115,718	4,473,483	11,630	4,461,853

※1 給料には諸手当、福利費を含む。

※2 長期前受金戻入を除く。

資 産 維 持 費 (Z)	0
料 金 対 象 経 費 (Y) + (Z)	4,461,853
(X) / ((Y) + (Z)) * 100 =	102

4 水道事業ガイドラインの主な業務指標から見た本市の現状

業務指標とは、水道事業の施設能力や経営状況など、事業全般にわたって数値化したもので、多角的な視点から事業経営の自己診断を行うことができます。

これらの業務指標を算出することで、本市の水道事業の現状を数値化し、わかりやすく、かつ客観的に水道事業を把握することができます。

以下に、水道事業の現状分析に用いる主な業務指標を示します。

●優位性

↑ … 値が高い方が望ましい指標

↓ … 値が低い方が望ましい指標

●凡例

■ 茨木市 (H29～R3)

■ 北摂他市平均 (R2)

■ 類似団体平均 (R元)

●他事業体との比較

北摂他市：豊中市、箕面市、吹田市、高槻市、摂津市、池田市

類似団体：業務指標 (PI) をホームページ等で公表している「現在給水人口 15 万人以上 30 万人未満」

1. 水道施設に関する項目

指標名 (B503)					優位性	業務指標		
法定耐用年数超過管路率 (%)					↓			
算出式								
法定耐用年数を超過している管路延長 / 管路延長 × 100								
説明								
管路の延長に対する法定耐用年数を超過している管路の割合であり、管路の老朽化度、更新の取り組み状況を表す指標								
茨木市					北摂他市 平均値 R2			類似団体 平均値 R元
H29	H30	R元	R2	R3				
12.8	14.5	15.6	16.7	19.7	35.8	20.7		
考察					北摂他市平均値より低く、類似団体平均値とほぼ同程度であるため、管路は比較的健全な状態で維持されているといえます。			

指標名 (B504)					優位性	業務指標		
管路の更新率 (%)					↑			
算出式								
更新された管路延長 / 管路延長 × 100								
説明								
年間で更新した管路延長の総延長に対する割合 (%) を示す指標								
茨木市					北摂他市 平均値 R2			類似団体 平均値 R元
H29	H30	R元	R2	R3				
0.51	0.72	0.76	1.19	0.65	1.21	0.68		
考察					北摂他市平均値よりは低いものの、類似団体平均値と同程度であるため、計画的な更新が実施されているといえます。			

2. 危機管理に関する項目

指標名 (B602)					優位性		業務指標	
浄水施設の耐震化率 (%)					↑			
算出式								
耐震対策の施された浄水施設能力 / 全浄水施設能力 × 100								
説明								
全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合であり、地震災害に対する浄水処理機能の信頼性・安全性を表す指標								
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元		
H29	H30	R元	R2	R3				
29.4	29.4	29.4	29.4	29.4	52.8	38.5		
考察					北摂他市平均値や類似団体平均値より低くなっており、十日市浄水場（沈でん池）の耐震化が必要となっています。			

指標名 (B604)					優位性		業務指標	
配水池の耐震化率 (%)					↑			
算出式								
耐震対策の施された配水池有効容量 / 配水池等有効容量 × 100								
説明								
全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の有効の割合であり、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す指標								
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元		
H29	H30	R元	R2	R3				
93.3	93.3	100.0	100.0	100.0	87.1	58.4		
考察					R2年2月に野々宮配水場を休止したことにより、配水池の耐震化はR元年度に100%に達しています。			

指標名 (B605)					優位性		業務指標	
管路の耐震管率 (%)					↑			
算出式								
耐震管延長 / 管路延長 × 100								
説明								
導・送・配水管（配水支管を含む）全ての管路の延長に対する耐震管の延長の割合であり、地震災害に対する水道管網の安全性・信頼性を表す指標								
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元		
H29	H30	R元	R2	R3				
20.4	21.8	23.0	24.3	25.1	19.0	14.2		
考察					北摂他市平均値や類似団体平均値よりも高くなっており、年々着実に管路の耐震化が進んでいます。			

指標名 (B203)					優位性	業務指標	
給水人口一人当たり貯留飲料水量 (L/人)					↑		
算出式							
(配水池有効容量×1/2+緊急貯水槽容量)×1000/現在給水人口							
説明							
給水人口一人当たり何Lの水が常時貯められているかを示す指標							
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元	
H29	H30	R元	R2	R3			
142	142	122	108	108	110	147	
考察					北摂他市平均値や類似団体平均値と同程度の飲料水が常時確保されています。		

指標名 (B611)					優位性	業務指標	
応急給水施設密度 (か所/百 km ²)					↑		
算出式							
応急給水施設数/現在給水面積×100							
説明							
100km ² 当りの応急給水施設数であり、震災時などにおける飲料水の確保のしやすさを表す指標							
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元	
H29	H30	R元	R2	R3			
47.2	47.2	59.2	59.2	57.1	27.0	24.8	
考察					北摂他市平均値や類似団体平均値よりも高くなっており、応急給水対策はかなり進んだ状況にあります。		

3. 水質管理に関する項目

指標名 (A204)					優位性	業務指標	
直結給水率 (%)					↑		
算出式							
直結給水件数/給水件数							
説明							
総給水件数に対する受水槽を経由せず直接給水される件数の割合 (%) を示す指標。水質の悪化を防ぐ観点から、直結給水が進められている。							
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元	
H29	H30	R元	R2	R3			
98.3	98.4	98.4	98.5	98.5	88.7	—	
考察					北摂他市平均値よりも高く、直結給水区域の拡大はかなり進んだ状況にあります。		

指標名 (A205)					優位性	業務指標	
貯水槽水道指導率 (%)					↑		
算出式							
貯水槽水道指導件数 / 貯水槽水道数							
説明							
貯水槽水道総数に対する調査・指導の割合 (%) を示す指標。ビルなどの貯水槽は水道事業者の管理ではないが、衛生上管理が問題となるので指導を行う。							
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元	
H29	H30	R元	R2	R3			
28.0	31.4	28.7	33.8	29.9	37.5	—	
考察					北摂他市平均値より低くなっており、さらなる管理状況の調査や改善指導が必要となっています。		

指標名 (A401)					優位性	業務指標	
鉛製給水管率 (%)					↓		
算出式							
鉛製給水管使用件数 / 給水件数							
説明							
鉛管を使用している件数の全給水件数に対する割合 (%) を示す指標							
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元	
H29	H30	R元	R2	R3			
2.2	2.1	2.0	1.8	1.6	2.8	8.1	
考察					北摂他市平均値や類似団体平均値より低く、更新が進んでいますが、早期更新に向けた整備を継続していく必要があります。		

4. 環境に関する項目

指標名 (B301)					優位性	業務指標	
配水量 1m ³ 当たり電力消費量 (kWh/m ³)					↓		
算出式							
電力使用量の合計 / 年間配水量							
説明							
取水から給水栓まで 1m ³ の水を送水するまでに要した電力消費量を示す指標							
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元	
H29	H30	R元	R2	R3			
0.25	0.25	0.26	0.25	0.25	0.35	0.34	
考察					エネルギー消費量の少ない配水区域の拡張などの取り組みにより、北摂他市平均値や類似団体平均値より低くなっています。		

5. 経営に関する項目

指標名 (C107)					優位性		業務指標																	
職員一人当たり給水収益 (千円/人)					↑		<table border="1"> <caption>職員一人当たり給水収益 (千円/人)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>北摂他市 平均値 2020</th> <th>類似団体 平均値 2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>値</td> <td>92,955</td> <td>92,608</td> <td>92,779</td> <td>77,249</td> <td>83,368</td> <td>58,571</td> <td>83,179</td> </tr> </tbody> </table>		年	2017	2018	2019	2020	2021	北摂他市 平均値 2020	類似団体 平均値 2019	値	92,955	92,608	92,779	77,249	83,368	58,571	83,179
年	2017	2018	2019	2020	2021	北摂他市 平均値 2020			類似団体 平均値 2019															
値	92,955	92,608	92,779	77,249	83,368	58,571			83,179															
算出式																								
給水収益/損益勘定所属職員数																								
説明																								
損益勘定所属職員一人当たりの労働生産性について、給水収益を基準として把握するための指標																								
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元																		
H29	H30	R元	R2	R3																				
92,955	92,608	92,779	77,249	65,684	58,571	83,179																		
考察					北摂他市平均値や類似団体平均値よりも高くなっており、効率的に事業を運営できているといえます。																			

指標名 (C117)					優位性		業務指標																	
1か月当たり家庭用料金 (20m ³) (円)					↓		<table border="1"> <caption>1か月当たり家庭用料金 (20m³) (円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>北摂他市 平均値 2020</th> <th>類似団体 平均値 2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>値</td> <td>1,998</td> <td>1,998</td> <td>2,035</td> <td>2,035</td> <td>2,035</td> <td>2,660</td> <td>2,878</td> </tr> </tbody> </table>		年	2017	2018	2019	2020	2021	北摂他市 平均値 2020	類似団体 平均値 2019	値	1,998	1,998	2,035	2,035	2,035	2,660	2,878
年	2017	2018	2019	2020	2021	北摂他市 平均値 2020			類似団体 平均値 2019															
値	1,998	1,998	2,035	2,035	2,035	2,660			2,878															
算出式																								
1か月20m ³ 当り家庭用料金 (料金表による)																								
説明																								
1か月に20m ³ 使用した場合における水道料金であり、契約者の経済的利便性を表す指標																								
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元																		
H29	H30	R元	R2	R3																				
1,998	1,998	2,035	2,035	2,035	2,660	2,878																		
考察					1か月当たり家庭用料金は、北摂他市平均値や類似団体平均値よりも安価となっています。																			

指標名 (C119)					優位性		業務指標																	
自己資本構成比率 (%)					↑		<table border="1"> <caption>自己資本構成比率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>北摂他市 平均値 2020</th> <th>類似団体 平均値 2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>値</td> <td>85.8</td> <td>86.8</td> <td>88.1</td> <td>88.5</td> <td>100</td> <td>67.2</td> <td>70.1</td> </tr> </tbody> </table>		年	2017	2018	2019	2020	2021	北摂他市 平均値 2020	類似団体 平均値 2019	値	85.8	86.8	88.1	88.5	100	67.2	70.1
年	2017	2018	2019	2020	2021	北摂他市 平均値 2020			類似団体 平均値 2019															
値	85.8	86.8	88.1	88.5	100	67.2			70.1															
算出式																								
[(資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益)/負債・資本合計]×100																								
説明																								
総資本 (負債及び資本) に対する自己資本の割合であり、財務の健全性を表す指標																								
茨木市					北摂他市 平均値 R2	類似団体 平均値 R元																		
H29	H30	R元	R2	R3																				
85.8	86.8	88.1	88.5	100	67.2	70.1																		
考察					北摂他市平均値や類似団体平均値よりも高く、健全に事業を運営できているといえます。																			

5 お客さまアンケート

本ビジョン・経営戦略を改定するにあたり、お客さまの水道事業に対するニーズを把握するため、アンケート調査を実施しました。

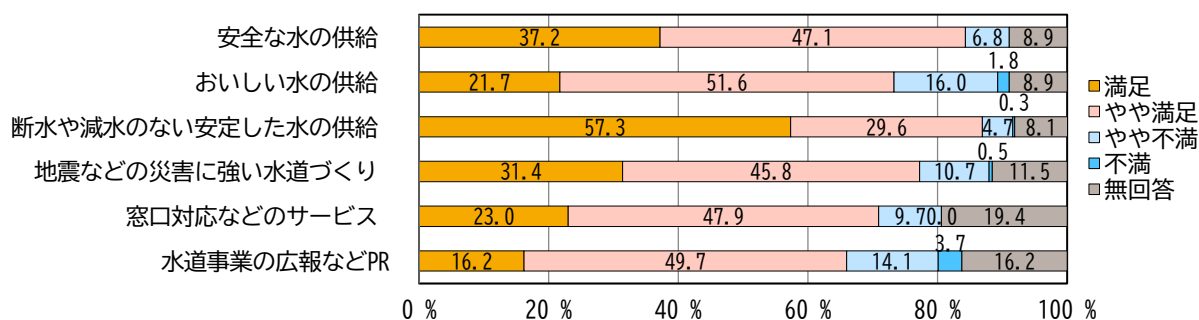
(1) アンケート調査の概要

	今回 (2021年度(令和3年度))	※参考 前回(2016年度(平成28年度))
調査地域	茨木市全域	
調査対象	市内在住者から無作為抽出した1,000人	
調査期間	令和3年6月28日～8月31日	平成28年9月2日～9月19日
有効回答数	382部(38.2%)	456部(45.6%)
調査方法	郵送配布・郵送回収	

(2) アンケート結果(一部抜粋)

水道の現状 ■本市水道事業の取り組みについて

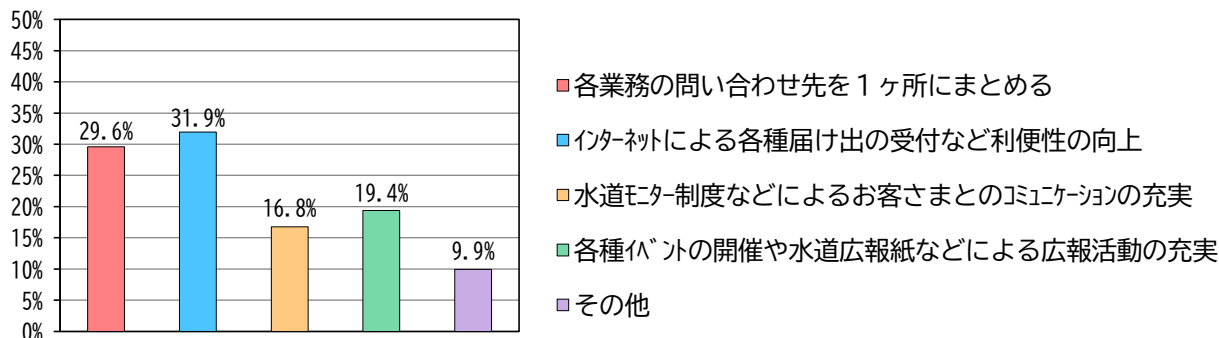
設問：茨木市水道部の取り組みについて、どのように感じていますか。



■資料 5-1 水道事業の満足度

水道のサービス ■充実すべき水道サービスについて(第4章P,39)

設問：水道サービスとして、これから充実するべきだと思う項目がありますか。

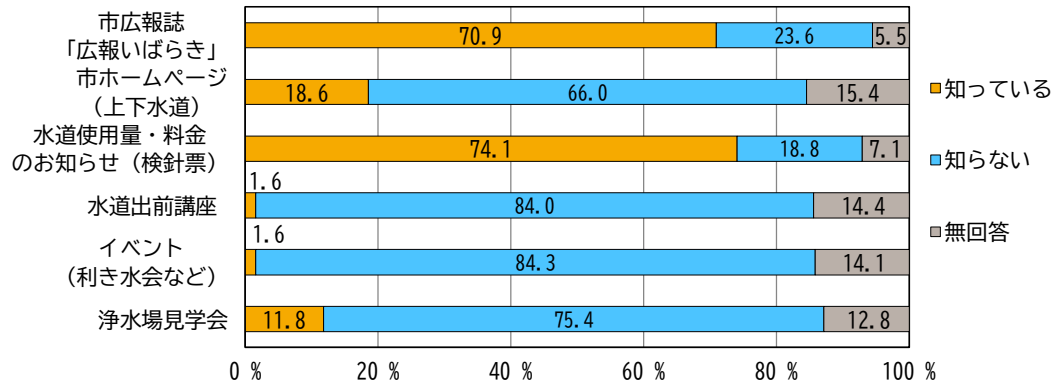


■資料 5-2 充実すべき水道サービス

広報活動

■広報活動の認知度

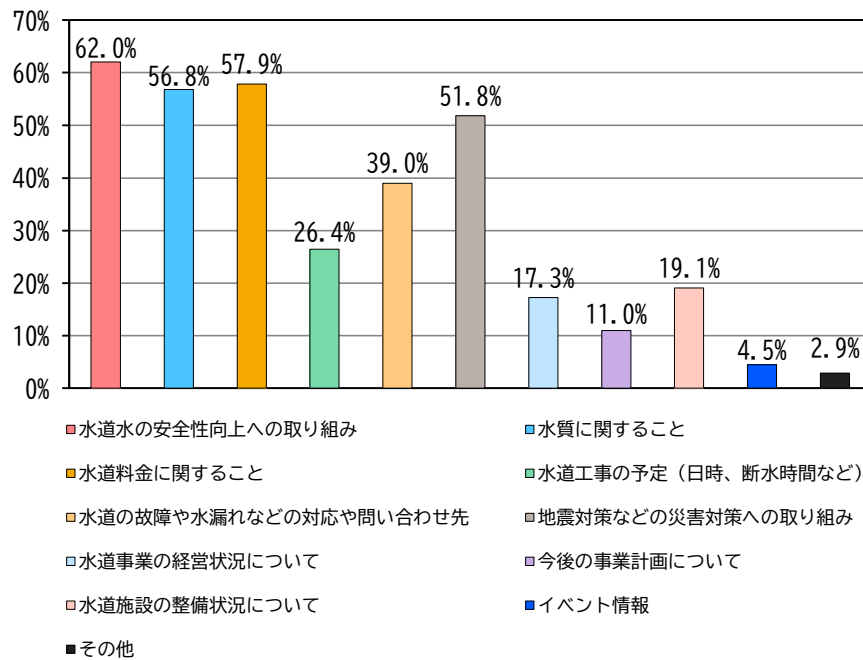
設問：茨木市が行っている水道に関する広報活動を知っていますか。



■資料 5-3 広報活動の認知度

■水道について関心のある項目 (第4章 P, 38)

設問：水道について関心のある項目はありますか。

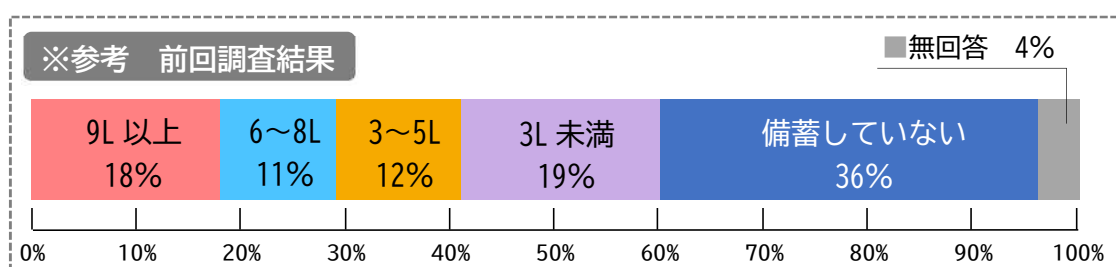
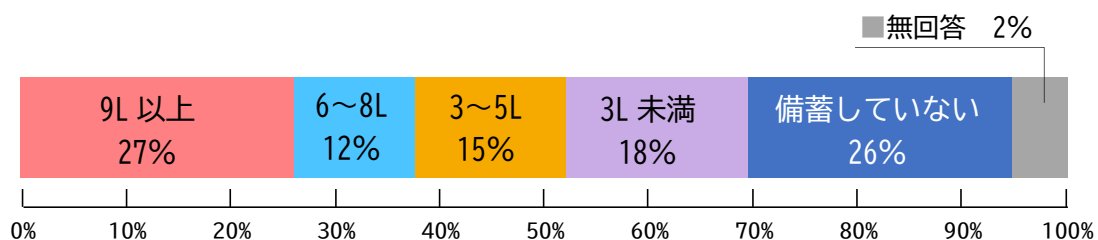


■資料 5-4 水道について関心のある項目

災害対策

■飲料水の備蓄状況（第4章 P, 30）

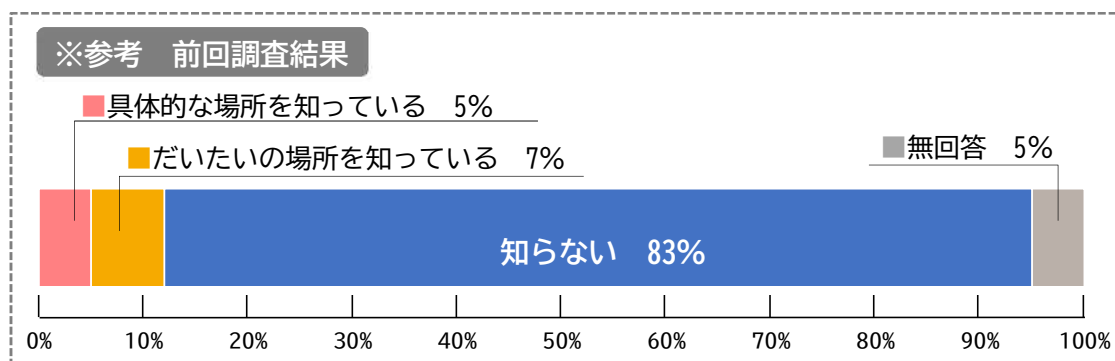
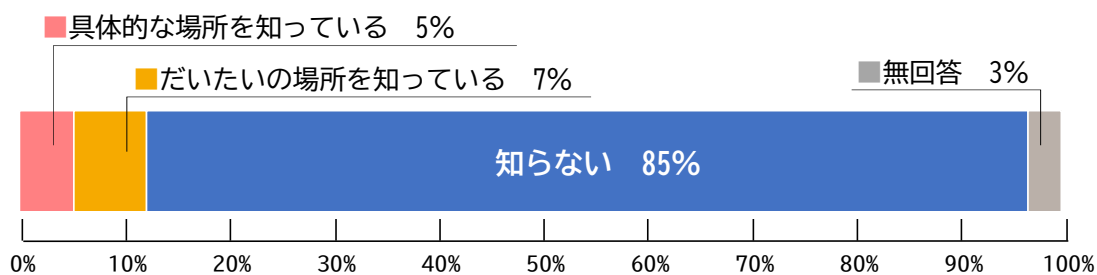
設問：あなたのご家庭では、地震などの災害時に備え、一人あたり、どのくらいの量の飲料水を備蓄されていますか。



■資料 5-5 飲料水の備蓄状況

■応急給水拠点の認知度

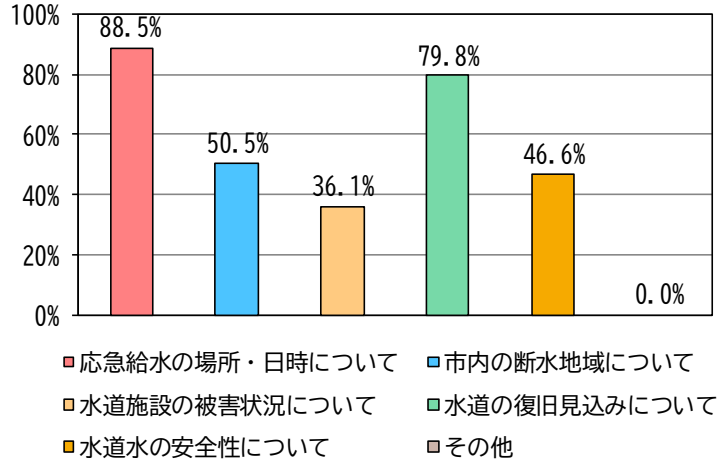
設問：あなたのお住まいの近くにある応急給水拠点の場所を知っていますか。



■資料 5-6 応急給水拠点の認知度

■災害時に知りたい情報（第4章 P, 38）

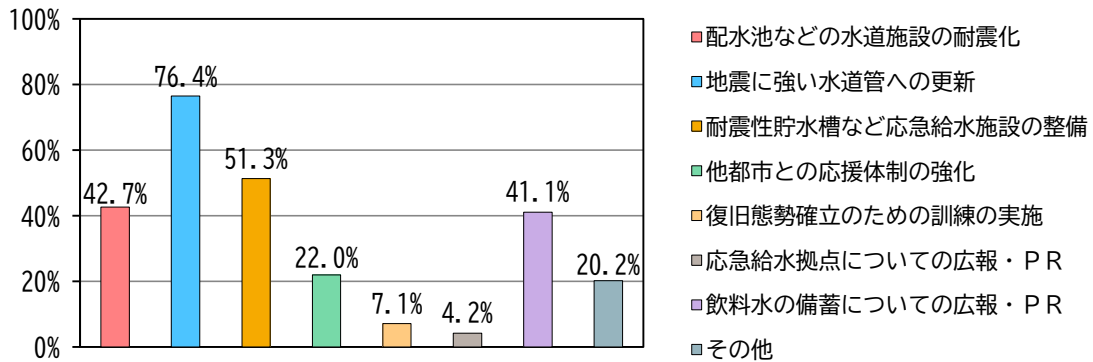
設問：地震などの災害が発生した場合、水についてどのような情報が知りたいですか。



■資料 5-7 災害時に知りたい情報

■優先すべき地震対策

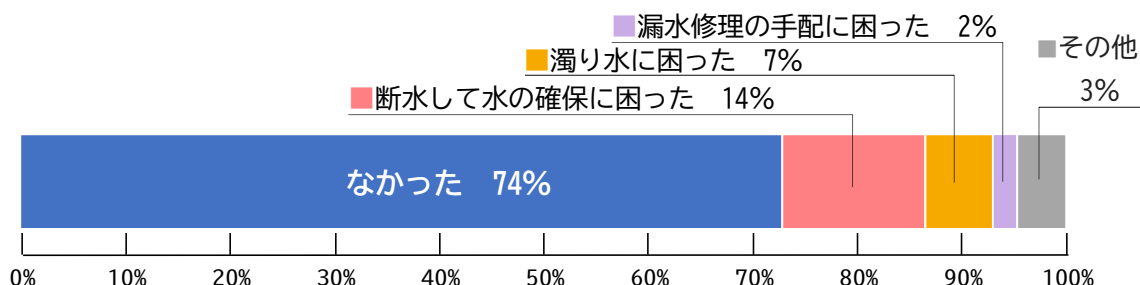
設問：地震などの災害への対策として、どのような対策を優先すべきだと思われますか。



■資料 5-8 優先すべき地震対策

■大阪北部地震による水道の不具合（第4章 P, 26）

設問：大阪北部地震（2018年）発生時に水道に関して困ったことなどありましたか。

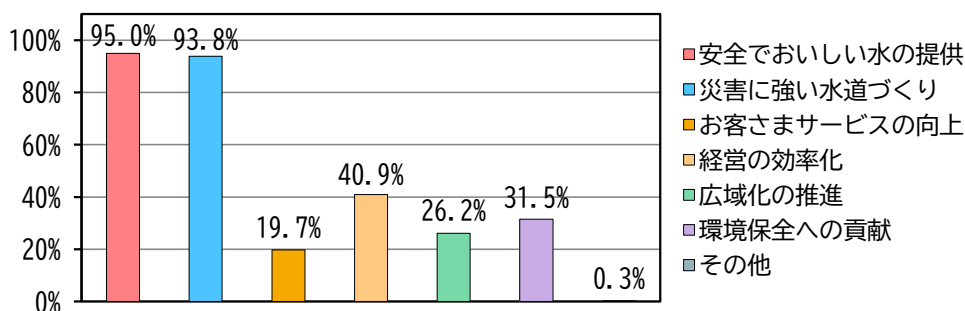


■資料 5-9 大阪北部地震による水道の不具合

今後の取り組み

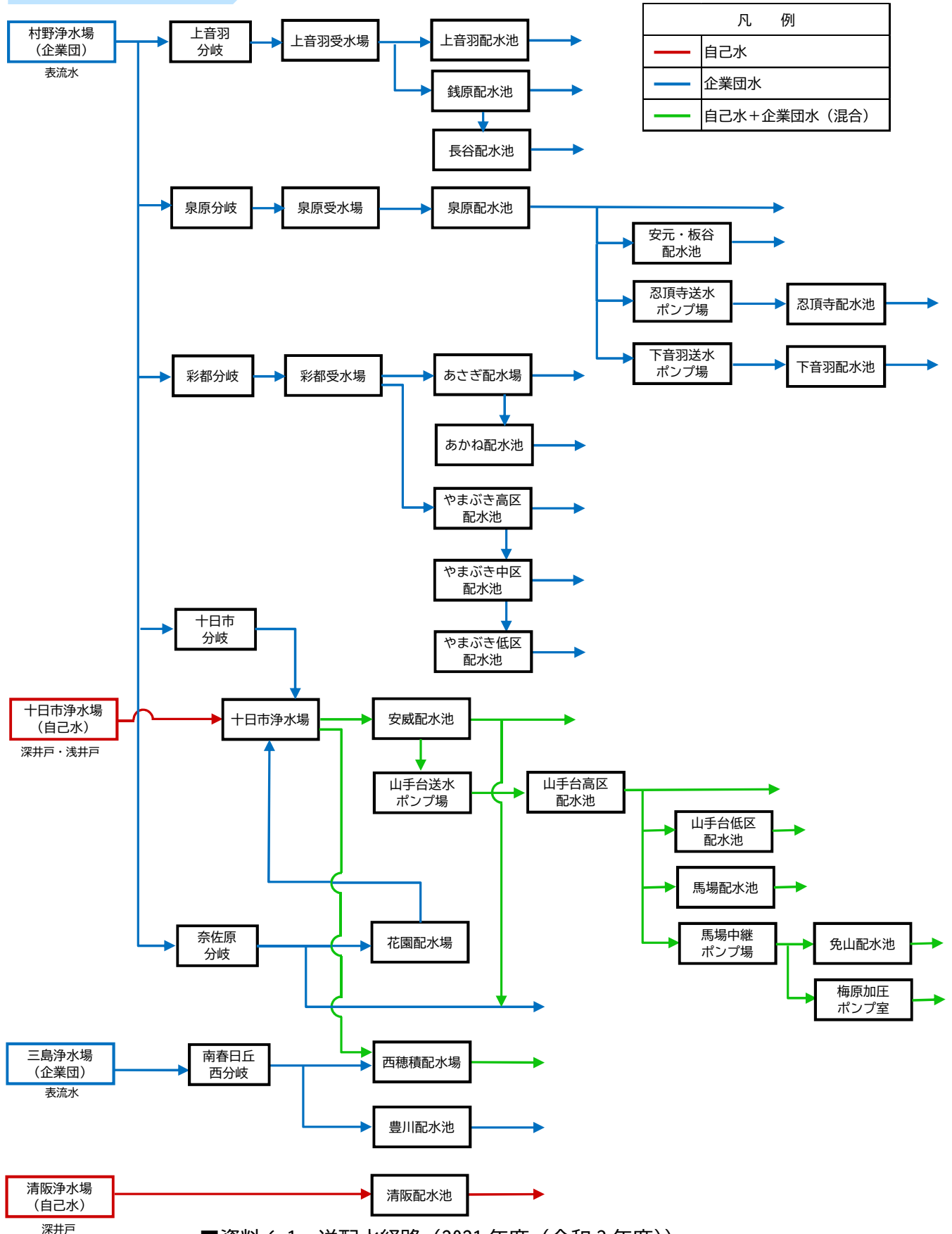
■本市が今後優先すべき取り組み（第4章 P, 39）

設問：今後の茨木市水道部の取り組みのうち、どのような取り組みを優先すべきだと思いますか。



■資料 5-10 本市が今後優先すべき取り組み

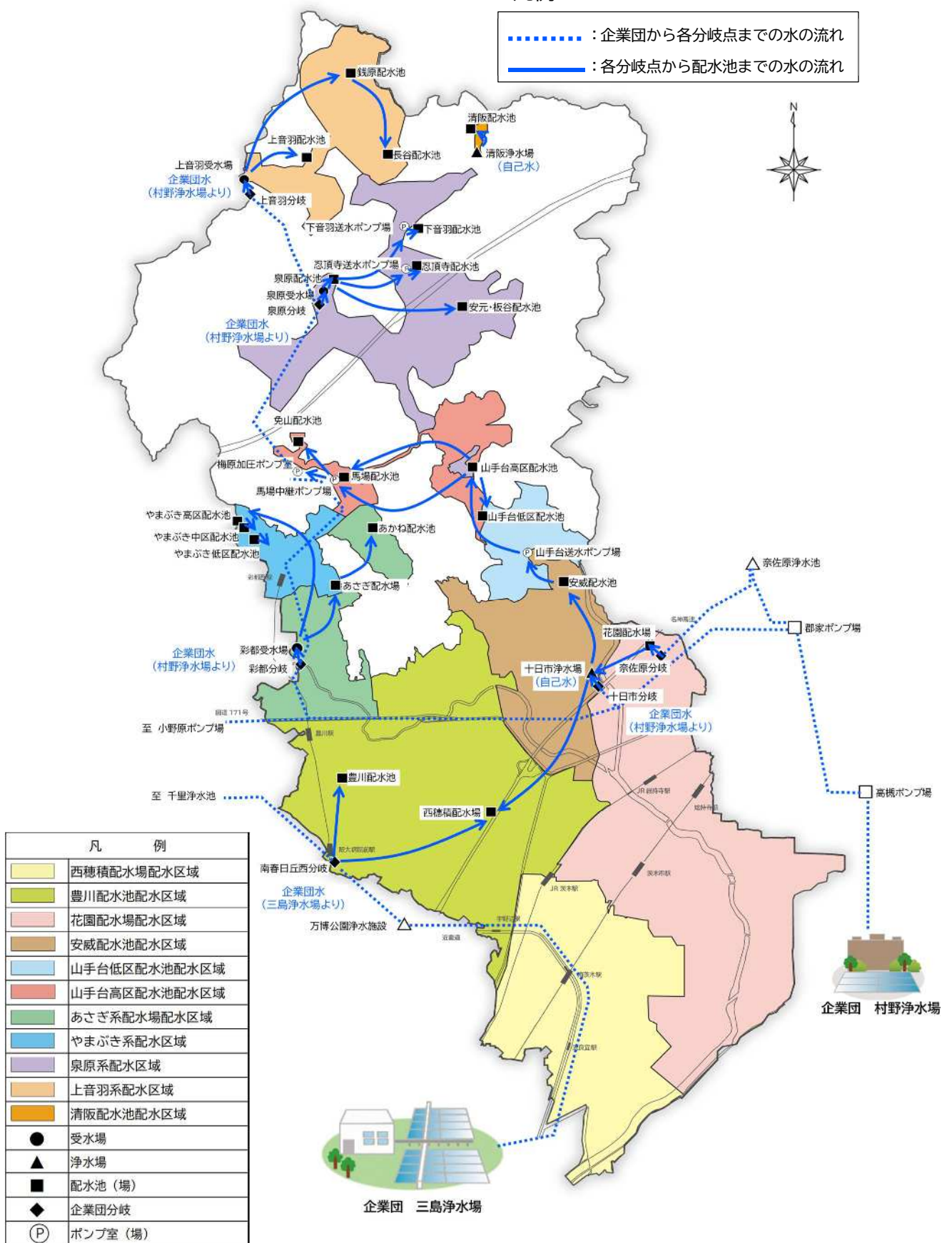
6 送配水経路



■資料 6-1 送配水経路 (2021年度 (令和3年度))

凡例

..... : 企業団から各分岐点までの水の流れ
 ——— : 各分岐点から配水池までの水の流れ



■資料 6-2 送配水経路 (2021 年度 (令和 3 年度))

■資料 6-3 各配水池・配水場における給水区域

配水池	概要
花園配水場	<p>大阪広域水道企業団奈佐原分岐から受水し、十日市浄水場に送水しています。また、奈佐原分岐から直送で給水区域内の各家庭などに給水しています。</p> <p>給水区域 末広町、園田町、総持寺駅前町、総持寺一～二丁目、総持寺台、竹橋町、玉島一～二丁目、高田町、玉瀬町、玉島台、田中町、大同町、寺田町、東宮町、戸伏町、中村町、中津町、並木町、中総持寺町、西河原一～三丁目、西河原北町、西太田町、野々宮一～二丁目、橋の内一～三丁目、花園一～二丁目、平田台、平田一～二丁目、東太田一～四丁目、東野々宮町、双葉町、舟木町、別院町、本町、星見町、真砂一～三丁目、真砂玉島台、宮元町、三咲町、三島町、三島丘一～二丁目、南耳原一～二丁目、宮島一丁目、南目垣一～三丁目、目垣一～三丁目、元町、若園町、駅前一～四丁目、上中条一～二丁目、永代町、大手町、片桐町、上泉町、大住町、五十鈴町、桑田町、主原町、稲場町、大池一～二丁目、水尾一丁目、新和町、小柳町、島一丁目、庄一～二丁目、学園町、学園南町、鮎川一～五丁目、白川一～三丁目、新堂一～三丁目、太田東芝町、城の前町、太田一～三丁目、五日市一丁目</p>
西穂積配水場	<p>大阪広域水道企業団南春日丘西分岐から受水するとともに十日市浄水場からも受水し、配水ポンプにより給水区域内の各家庭などに給水しています。</p> <p>給水区域 主原町、岩倉町、宇野辺一～二丁目、丑寅一～二丁目、小川町、蔵垣内一～三丁目、沢良宜西一～四丁目、沢良宜東町、沢良宜浜一～三丁目、新庄町、下中条町、新中条町、新和町、島一～四丁目、大正町、玉瀬町、玉水町、玉櫛一～二丁目、高浜町、天王一～二丁目、並木町、奈良町、西中条町、西駅前町、東中条町、東奈良一～三丁目、東宇野辺町、松ヶ本町、真砂一～二丁目、美沢町、水尾一～四丁目、宮島二～三丁目、横江一～二丁目、若草町、若園町、駅前一丁目、小柳町、西穂積町</p>
豊川配水池	<p>大阪広域水道企業団南春日丘西分岐から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しています。</p> <p>給水区域 井口台、宇野辺一～二丁目、駅前一丁目、大字中穂積、大字宿久庄、大字福井、春日一～五丁目、上穂東町、上穂積一～四丁目、北春日丘一～四丁目、郡一～五丁目、郡山一～二丁目、下穂積一～四丁目、紫明園、新郡山一～二丁目、宿川原町、下井町、宿久庄一～二丁目、豊川一～五丁目、豊原町、中穂積一～三丁目、中河原町、西駅前町、西田中町、西穂積町、西豊川町、西福井一～四丁目、畑田町、東福井一～二丁目、藤の里一～二丁目、穂積台、松下町、見付山一～二丁目、南春日丘一～七丁目、南清水町、美穂ヶ丘、室山一～二丁目、田中町、上郡二丁目</p>

配水池	給水区域	
安威配水池	十日市浄水場から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しているほか、山手台送水ポンプ場に送水しています。	
	給水区域	安威一～四丁目、五日市緑町、五日市一～二丁目、上野町、上郡一～二丁目、十日市町、西福井四丁目、西安威一～二丁目、東福井一～三丁目、東安威一～二丁目、松下町、南耳原一～二丁目、耳原一～三丁目、南安威一～三丁目、彩都もえぎ一丁目、中河原町、大字桑原、畑田町
山手台高区配水池	山手台送水ポンプ場から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しているほか、山手台低区配水池や馬場配水池、免山配水池などに送水しています。	
	給水区域	大字大門寺、大字生保、山手台三～七丁目、山手台新町一～三丁目、彩都はなだ一～二丁目、東福井四丁目、大字清水、大字福井、大字桑原
馬場配水池	山手台高区配水池から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しています。	
	給水区域	大字佐保
免山配水池	山手台高区配水池から馬場中継ポンプ場を経由して受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しています。	
	給水区域	大字佐保
山手台低区配水池	山手台高区配水池から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しています。	
	給水区域	大字桑原、山手台一～四丁目、山手台東町、彩都もえぎ一丁目、大字安威
あさぎ配水場	彩都受水場から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しているほか、送水ポンプであかね配水池に送水しています。	
	給水区域	彩都あさぎ二～七丁目、清水一～二丁目、大字宿久庄、宿久庄二～七丁目、藤の里二丁目
あかね配水池	あさぎ配水場から受水し、自然流下で給水区域内に給水しています。また、配水ポンプにより加圧給水している区域もあります。	
	給水区域	彩都あかね
やまぶき高区配水池	彩都受水場から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しているほか、やまぶき中区配水池に送水しています。	
	給水区域	彩都やまぶき四～五丁目

配水池	給水区域	
やまぶき中区 配水池	やまぶき高区配水池から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しているほか、やまぶき低区配水池に送水しています。	
	給水区域	彩都あさぎ七丁目、彩都やまぶき二～四丁目、大字粟生岩坂、大字佐保
やまぶき低区 配水池	やまぶき中区配水池から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しています。	
	給水区域	彩都あさぎ一丁目、彩都あさぎ五～七丁目、彩都やまぶき一丁目
泉原配水池	泉原受水場から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しているほか、下音羽送水ポンプ場、忍頂寺送水ポンプ場、安元・板谷配水池に送水しています。	
	給水区域	大字泉原、大字大岩、大字千提寺、山手台六～七丁目
忍頂寺配水池	忍頂寺送水ポンプ場から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しています。	
	給水区域	大字忍頂寺
下音羽配水池	下音羽送水ポンプ場から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しています。	
	給水区域	大字下音羽
安元・板谷配 水池	泉原配水池から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しています。	
	給水区域	大字安元、大字車作
上音羽配水池	上音羽受水場から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しています。	
	給水区域	大字上音羽
銭原配水池	上音羽受水場から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しているほか、長谷配水池に送水しています。	
	給水区域	大字銭原、大字長谷
長谷配水池	銭原配水池から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しています。	
	給水区域	大字長谷
清阪配水池	清阪浄水場から受水し、自然流下で給水区域内の各家庭などに給水しています。	
	給水区域	大字清阪

7 水質検査結果

■資料 7-1 水質検査結果（2021 年度（令和 3 年度））

項目※1	基準値	十日市浄水場			蔵垣内公園	清阪浄水場
		企業団受水	深井戸 (浄水)	浅井戸 (浄水)	末端給水栓	深井戸 (浄水)
一般細菌	100 個/mL	0	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
水銀及びその化合物	0.0005mg/L	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
シアン化物イオン 及び塩化シアン	0.01mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
フッ素及びその化合物	0.8mg/L	0.08 未満～ 0.10	0.08 未満～ 0.09	0.14～0.18	0.08 未満～ 0.09	0.08 未満～ 0.08
鉄及びその化合物	0.3mg/L	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満
銅及びその化合物	1.0mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満
フェノール類	0.005mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.00005 未満	0.0005 未満
pH 値	5.8以上8.6 以下	7.2～7.7	7.4～8.0	6.8～7.5	7.1～7.9	7.0～7.7
味	異常でない こと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常でない こと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	5 度以下	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満
濁度	2 度以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満

※1「項目」は水道法で定められた水質基準 51 項目の内、代表的な項目を記載しています。

8 茨木市水道事業ビジョン・経営戦略改定までの経緯

茨木市水道事業ビジョン・経営戦略の改定に当たっては、学識経験者や事業関係者、利用者団体からの推薦者や公募市民等で構成される「茨木市水道・下水道事業審議会」での審議やアンケート調査、パブリックコメントなどにより、お客さまから広く意見をいただきながら検討を進めてきました。

第1回茨木市水道・下水道事業審議会

日時：2022年（令和4年）6月27日（月曜日）

場所：福祉文化会館2階 202号室

議題：審議会の運営及び公開について、会長・副会長の選出、諮問、内容の審議

第2回茨木市水道・下水道事業審議会

日時：2022年（令和4年）8月23日（火曜日）

場所：福祉文化会館2階 202号室

議題：内容の審議

第3回茨木市水道・下水道事業審議会

日時：2022年（令和4年）10月4日（火曜日）

場所：福祉文化会館2階 202号室

議題：内容の審議

第4回茨木市水道・下水道事業審議会

日時：2022年（令和4年）11月1日（火曜日）

場所：福祉文化会館2階 202号室

議題：内容の審議

第5回茨木市水道・下水道事業審議会

日時：2022年（令和4年）11月28日（月曜日）

場所：福祉文化会館2階 202号室

議題：内容の審議

パブリックコメントの実施

意見等募集期間：2023年（令和5年）1月5日から1月25日まで

意見の提出方法：郵送、FAX、Eメール、担当課への書面の提出、簡易電子申込システム

資料の配布・閲覧場所：ホームページ、水道部総務課窓口（福祉文化会館2階）、下水道総務課窓口（市役所本館8階）、情報ルーム（市役所南館1階）、北辰出張所、各図書館

意見提出件数：5名（18件）

第6回茨木市水道・下水道事業審議会

日時：2023年（令和5年）2月21日（火曜日）

場所：福祉文化会館2階 202号室

議題：パブリックコメントの意見と対応について、答申案の取りまとめ

茨木市水道・下水道事業審議会委員名簿

(敬称略)

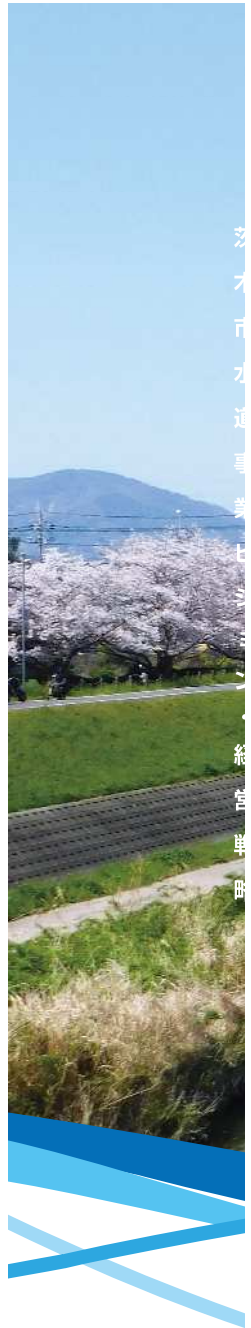
職名	氏名	所属団体等	規則区分
会長	なかがみ けんいち 仲上 健一	立命館大学 名誉教授	学識経験者
副会長	やまの かずや 山野 一弥	公益社団法人日本水道協会 大阪支所 支所長	事業関係者
委員	かどや しんいちろう 角谷 伸一郎		市民
委員	いのうえ しょうじよ 井上 しょうじよ		市民
委員	おかざき としみ 岡崎 利美	追手門学院大学 経営学部 准教授	学識経験者
委員	きたや かずひこ 北舎 和彦	地方共同法人 日本下水道事業団 近畿総合事務所 次長	事業関係者
委員	やぎ かおり 八木 香織	茨木商工会議所会員 エル法律事務所 弁護士	利用者団体から 推薦された者
委員	さながわ れいこ 佐名川 玲子	茨木市消費者協会 会長	利用者団体から 推薦された者

計 8 名



次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。



茨木市水道事業ビジョン・経営戦略

茨木市水道事業ビジョン・経営戦略

令和5年(2023年)3月発行



茨木市 水道部

〒567-0888 大阪府茨木市駅前四丁目7番55号
TEL:072-620-1690 FAX:072-623-1918
E-mail:suidosomu@city.ibaraki.lg.jp

茨木市
水道部